

小野小町

丁酉春新版



上

~ 13
3743
21



門 へ 13
3743
浮世源氏繪

小世の虫

浮世源氏繪

十一編

上の巻

京山作
國直画

錦森堂梓

天保八年

丁酉孟夏

編 一 十

余ガ稗史之著筆始出ハ一時之游戲而後單冊片葉羽モ化成青蚨以為テ茶花之資有于茲年矣コトニ間嘗謂已視ニ

二毛尚未得脱タ稗官之草澤而著兒曹之玩冊以傲ホ

其名蓋何儒林之笑如烏須ツ不如燒其筆硯脱ル其草

澤ニ已矣書賈聞之曰翁今出稗官雞口則是在於儒

風之牛後而已雞口之近キ香餌與牛後之近キ糞真孰

勝耶余笑不答復作此編以為兒曹之玩具云ハ

天保八年春脱稿

山東庵京山



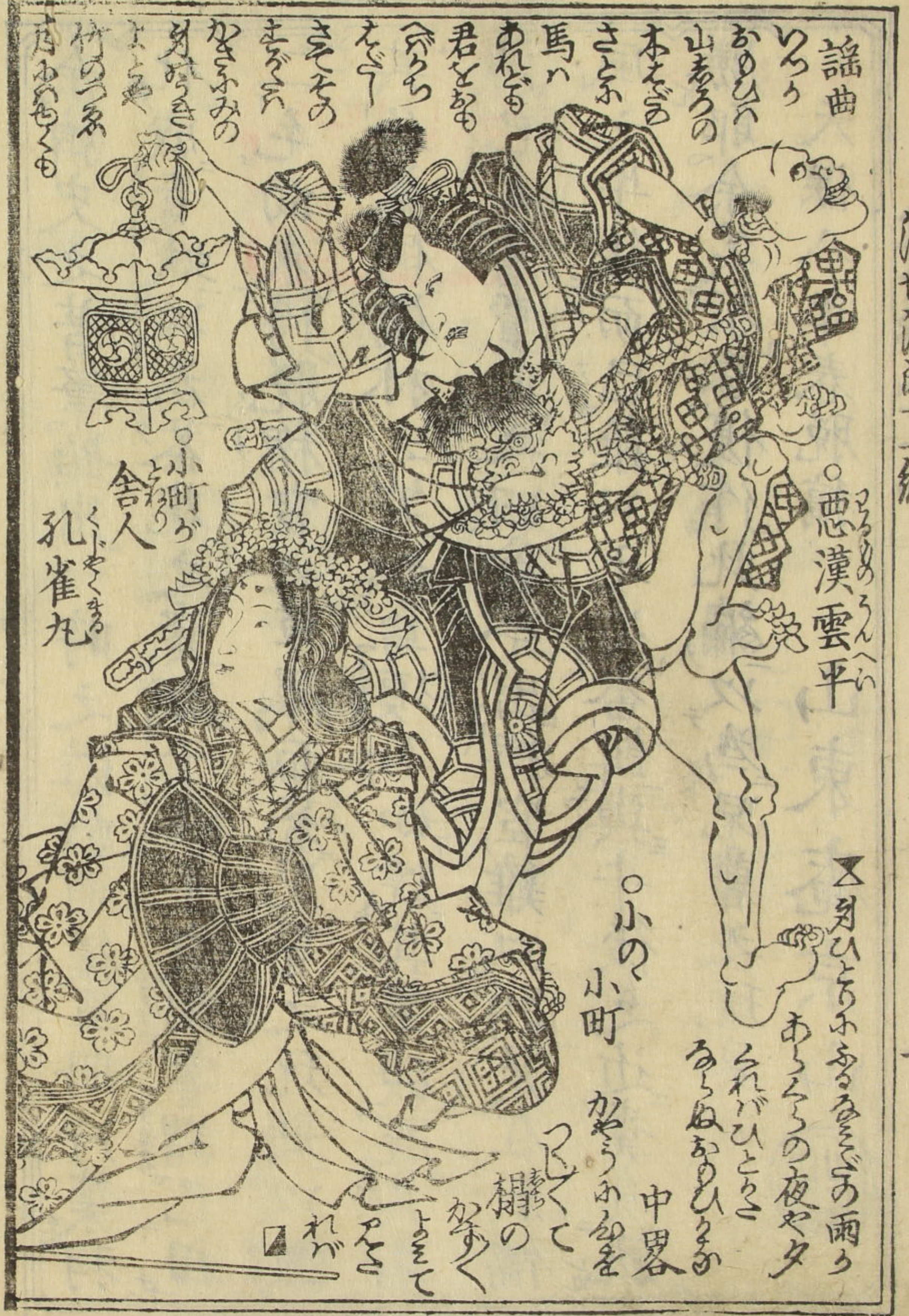
浮世源氏繪



九十九
 九夜
 鬼の目
 鬼の口
 鬼の鼻
 鬼の舌
 鬼の歯
 鬼の爪
 鬼の毛
 鬼の汗
 鬼の涙
 鬼の血
 鬼の肉
 鬼の骨
 鬼の魂

〇あつちの女きり
 ようき

九十九
 九夜
 鬼の目
 鬼の口
 鬼の鼻
 鬼の舌
 鬼の歯
 鬼の爪
 鬼の毛
 鬼の汗
 鬼の涙
 鬼の血
 鬼の肉
 鬼の骨
 鬼の魂



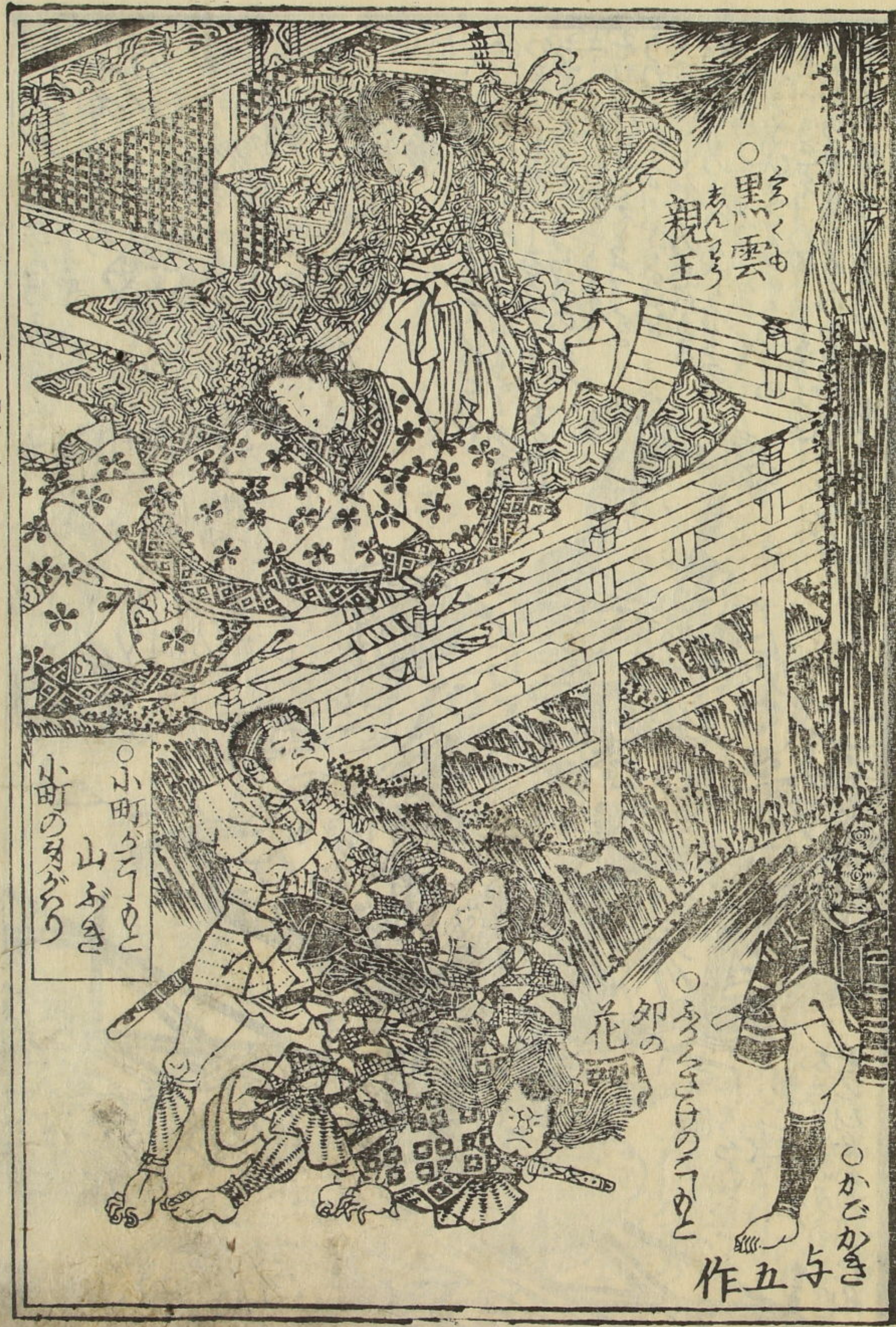
謡曲
 〇悪漢雲平
 〇小の
 小町
 中畧
 〇小の
 小町
 中畧

〇悪漢雲平

〇小の
 小町
 中畧

〇小の
 小町
 中畧

〇小の
 小町
 中畧



○黒雲
あんな
親王

○小町
山あき
小町のあき

○あんな
花の
あんな

○かご
作五
かご



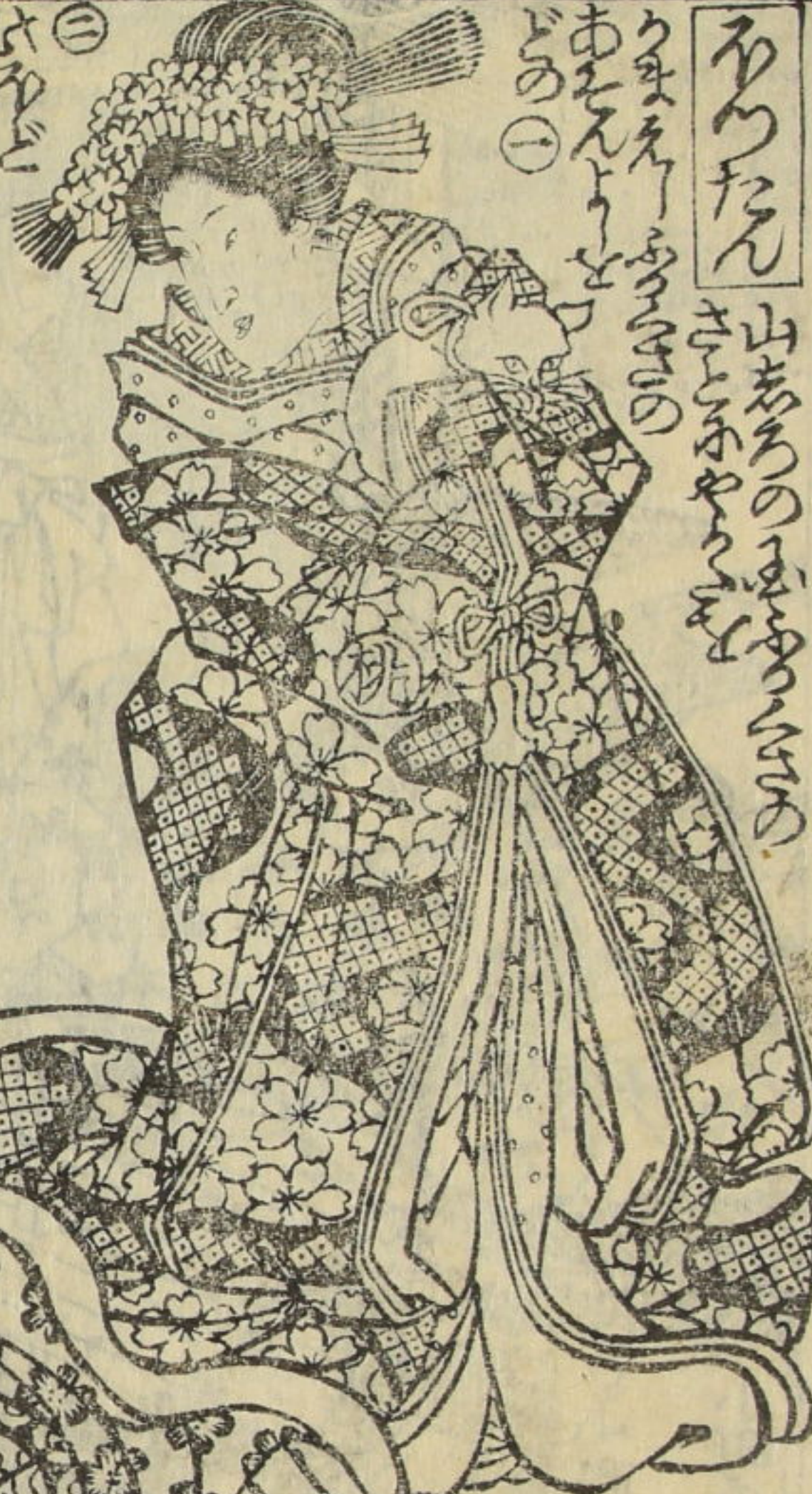
○小町
舎人
まろ
あき

○深草
長
直
武
進
根
名
の
家
の

○与五
作
女
房
あき

あつたん

山崎の...
...
...

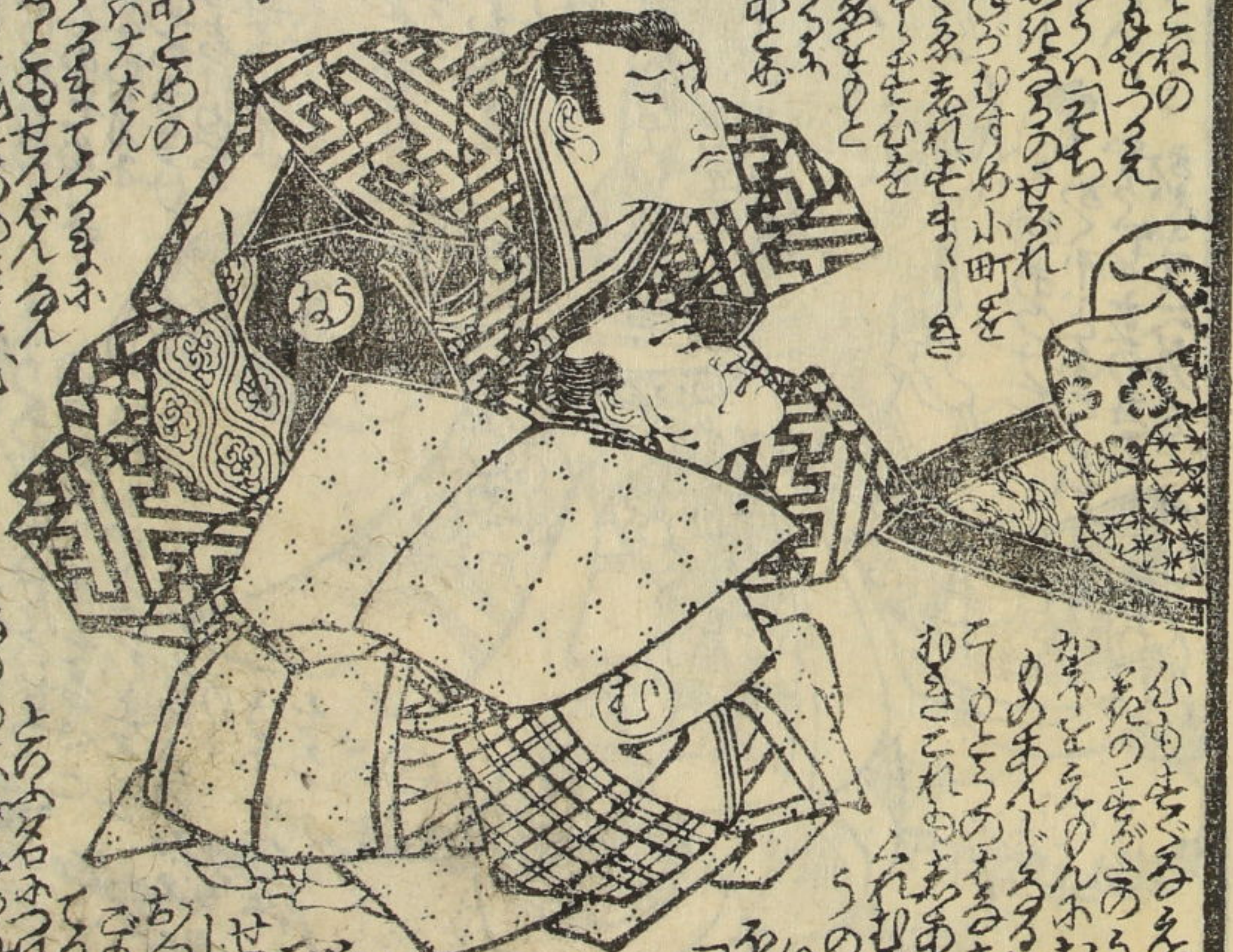


よりあつたん...
...
...



あつたん...
...
...

あつたんとあつたん...
...
...



あつたん...
...
...

あつたん...
...
...

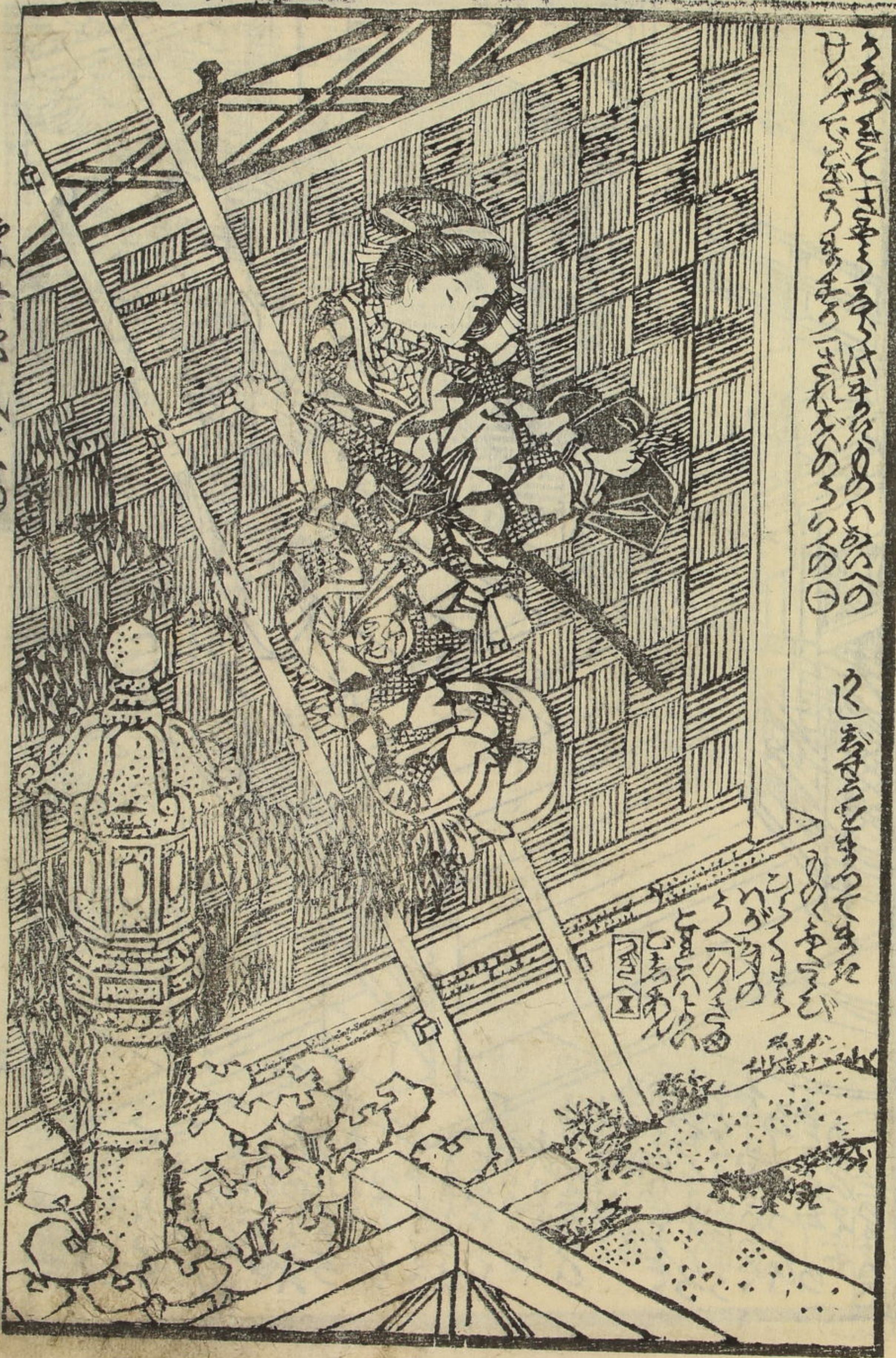
此は江戸の...

△あのかうさつ... 母さあ... 小町さあ... 母さあ... 小町さあ... 母さあ... 小町さあ...



○このころ... 母さあ... 小町さあ... 母さあ... 小町さあ... 母さあ... 小町さあ...

○あつて... 母さあ... 小町さあ... 母さあ... 小町さあ... 母さあ... 小町さあ...



△あのかうさつ... 母さあ... 小町さあ... 母さあ... 小町さあ... 母さあ... 小町さあ...

○このころ... 母さあ... 小町さあ... 母さあ... 小町さあ... 母さあ... 小町さあ...

此は江戸の...

① 小町をくぐる
 かのついでにさか入り
 小町をくぐる
 かのついでにさか入り

② 小町をくぐる
 かのついでにさか入り

③ 小町をくぐる
 かのついでにさか入り

④ 小町をくぐる
 かのついでにさか入り

⑤ 小町をくぐる
 かのついでにさか入り



おぼやかしきよのふくとしにけいけいなるものなりとてま
うらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくくく
まのうらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくく
のうらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくく
おぼやかしきよのふくとしにけいけいなるものなりとてま
うらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくくく
まのうらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくく
のうらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくく

① 〇〇〇〇〇〇
金百両の目ざし
② 〇〇〇〇〇〇
おぼやかしきよのふくとしにけいけいなるものなりとてま
うらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくくく
まのうらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくく
のうらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくく

〇〇〇〇〇〇



〇〇〇〇〇〇
おぼやかしきよのふくとしにけいけいなるものなりとてま
うらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくくく
まのうらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくく
のうらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくく

④ 〇〇〇〇〇〇
おぼやかしきよのふくとしにけいけいなるものなりとてま
うらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくくく
まのうらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくく
のうらさかたつてしめてしめてくくくくくくくくく

⑤ 〇〇〇〇〇〇

ウララチ... 小町... 丹...



ウララチ... 小町... 丹... 丹...



① 丹... 小町... 丹... 丹...

京山作
國直画




△あかびのせきまをてとふあられ
 ころのがくまをてふりけあての
 ののせあひまをとりりち小町
 さゆとえしるるひーさねらの
 今や丸まのあつれけ
 それくは海まうとて
 こまのまへーこれるる

あかびのせきまをてとふあられ
 ころのがくまをてふりけあての
 ののせあひまをとりりち小町
 さゆとえしるるひーさねらの
 今や丸まのあつれけ
 それくは海まうとて
 こまのまへーこれるる

①あけのよろこぶそれか
 つくてもうりのと山あき
 ねふたえぬりのきりま
 けれのいのまきり
 つまの山をさうト
 あちちるまも
 へまふけり
 山あきり
 けふま
 ま

